

「デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)事業」

令和5年度進捗状況

(重要業績評価指標(KPI)・取組実績)

令和6年9月

やまぞえ未来創生計画推進本部

デジ田交付金(地方創生推進タイプ) 検証シート

1. 交付対象事業

名 称	東豊ベース「てんぐの郷」プロジェクト ～身近な地域資源を活かし、人と地域の自立を育む～
事業実施期間	令和3年4月から令和6年3月まで (令和3年度から令和5年度までの3年間)
令和5年度交付金 対象事業経費(実績)	16,719,030円 (うち1/2は内閣府デジ田交付金を充当)

2. 本事業における重要業績評価指標(KPI)

指 標	現状値	最終年度 目標値 (R6年3月)	R5年度 単年目標値	R5年度 達成状況		担当課
				実績値	進捗率 (%)	
「ナリワイを育む取組」における 新たな特産品の販売額	0千円	600千円	300千円	1,050千円	350	地域 振興課
「ナリワイを育む取組」における 村外のイベント等での商品販売 額	0千円	700千円	300千円	408千円	136	地域 振興課
「ヒトを育む取組」における 講座や塾への参加者数	0人	400人	100人	790人	790	地域 振興課
本事業を通して活用した空き家 数	0件	6件	2件	0件	0	地域 振興課

備 考

【KPIが未達成であった理由】

・「本事業を通して活用した空き家数」については、「講座や塾への参加者数」が目標値を大きく上回っていることから分かります。関係人口増加が図れている一方で移住人口につなげられていない原因としては、実施している田舎暮らし体験や農業体験・その他講座等が、コロナ禍での3密を回避するための短時間・一過性の取組になっていることが考えられる。

3. R5年度成果および今後の取り組み

事業名	事業概要		事業費 (円)	担当課
●ソフト事業 ヒトを育む取組	R5年度 事業概要 (計画時点)	2年間の成果を踏まえ、事業実施主体の財源とできるプログラムや仕組みの構築を進める。 ①創造力育成事業は、収益事業としての安定化を図る。 ②田舎暮らし塾事業は、その最終目的を「移住の拡大と定着」や「空き家活用」に置いた事業化を図る。	3,000,000	地域振興課
	R5年度 主な成果・ 今後の取り組み等	想像力育成事業について、隣接する名張市等への広報を行い、開催する講座等の周知を行った。田舎暮らし塾として、農業体験や自然体験等の山添村ならではの内容を盛り込んだ事業を開催。 今後の取り組みとして、これまでの成果を踏まえ、事業実施主体の財源とできるプログラムや仕組みの構築と、運用を行っていく。		
●ソフト事業 ナリワイを育む取組	R5年度 事業概要 (計画時点)	2. ナリワイを育む取組 整備する加工施設において特産品の製造を拡大し、事業実施主体の自立・自走の主財源としての収益を確保するための販路拡大を進める。 ①特産品開発事業は、新たに整備する加工施設における特産品の供給体制を構築し、安定した収益の確保を図る。 ②販路拡大事業は、ブランドの全国的な定着とともに、デパートや海外での販売も視野に入れた更なる販路の開拓を進める。	3,500,000	地域振興課
	R5年度 主な成果・ 今後の取り組み等	以前から開発を行っている茶の実オイル加工商品3点(保湿バーム、ネイルオイル、フェイシャルソープ)や東豊オリジナルグッズ(シャツ、パッチ、クラフト雑貨等)等の、販路拡大を行うとともに、ブランド力向上に努めた。 今後は、令和5年度に整備した特産品加工施設を活用し製造を拡大するとともに、事業実施主体の自立・自走の主財源としての収益を確保するための販路拡大を進めていく。		
●ソフト事業 情報を活用する取組	R5年度 事業概要 (計画時点)	3. 情報を活用する取組 2年間の情報活用の実績を活かし、事業実施主体の自立に向け、動画広告やクラウドファンディング等による収益確保や事業経費の外部からの獲得を図る。	2,500,000	地域振興課
	R5年度 主な成果・ 今後の取り組み等	SNS(インスタグラム)等の情報通信を活用した関係人口創出機会の創出を図った。また、広報誌を発行し、デジタルとアナログの両面を活かした活動の広報を行った。 今後の取り組みとして、活動の広報や関係人口創出を行っていくとともに、引き続き動画広告やクラウドファンディング等による収益確保や事業経費の外部からの獲得を図っていく。		
■ハード事業 (1)特産品加工施設整備費用 (2)搬入口整備費用 (3)特産品加工設備備品購入費	R5年度 事業概要 (計画時点)	ソフト事業推進のためのハード整備として、令和4年度に設計した特産品加工施設を整備する。また、特産品加工に要する設備備品についても整備を行う。	(1)1,909,600 (2)449,900 (3)5,359,530	地域振興課
	R5年度 主な成果・ 今後の取り組み等	活動主体の自主財源とするための特産品の開発・製造を行うため、令和4年度に設計した特産品加工施設の改修と、加工設備についての整備を行った。 今後の取り組みとして、自立・自走の主財源を確保するために、地域資源である野菜や茶の実等を活用した特産商品の製造と、商品販売等を行っていく。		
R5年度事業費合計 (1/2は内閣府デジタル田園都市国家構想交付金を充当)			16,719,030	